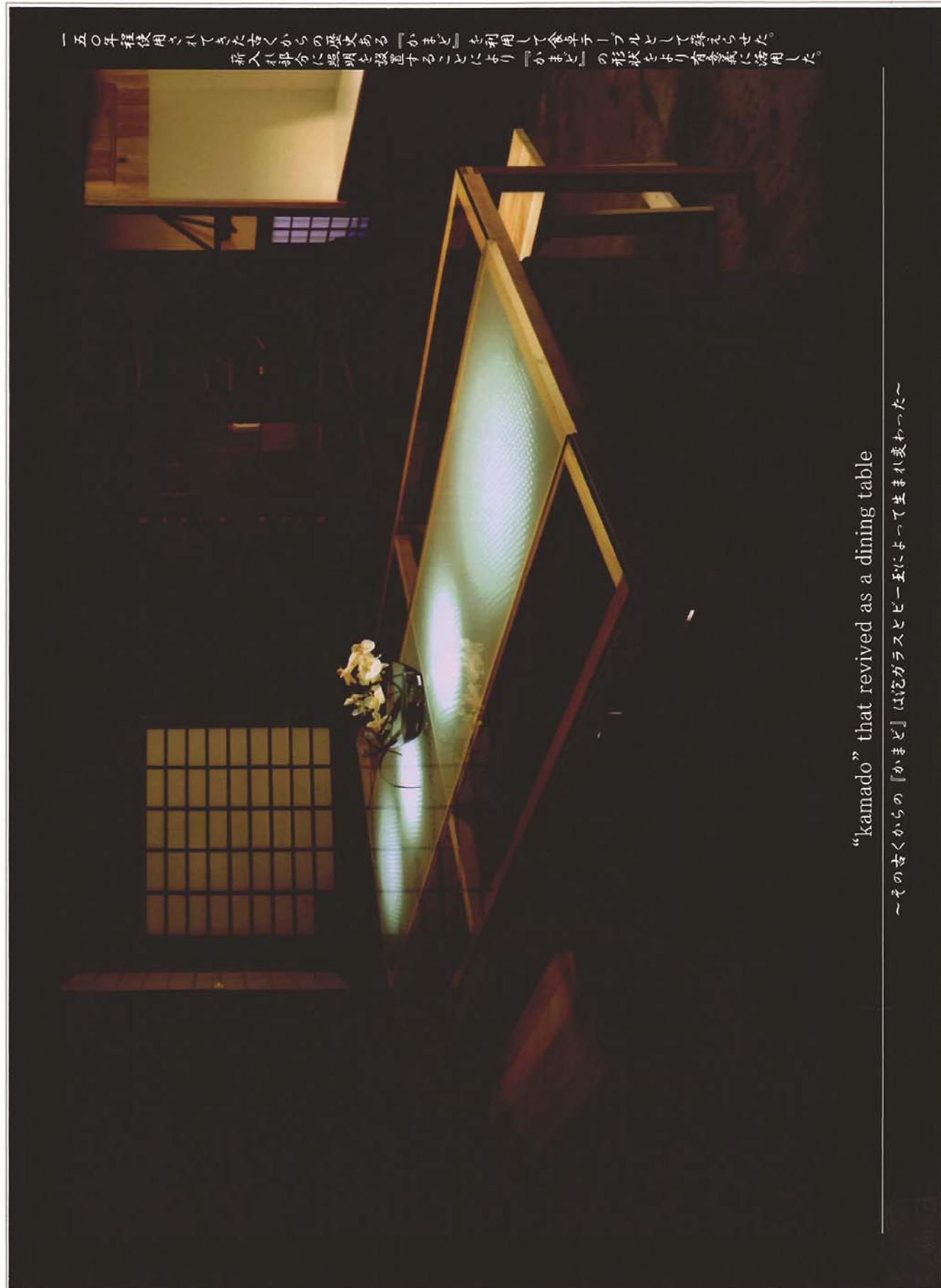


登録番号	20138	作品名	東吉野の家 -omoya- —歴史ある釜戸を再生利用したダイニングテーブル—
使用製品 (○をつけてください)	ガラスブロック ネオバリエ ラピエ フィノ ファイアライト グラソア チュービー (アクラス) ベルーナ その他の製品		



コメント 150年程度の古民家内の『かまど』それは、一時代の役割を終え、今では無用となってしまった。その雰囲気を壊さず、上手に活用することを重点とし、且つ、単にテーブル化するだけではなく、『かまど』の持つ形状特性を生かして薪入れの部分に照明を設置し、その光を有効かつ独創的に活用する為に天板部にビーエーと特殊泡入りガラス『アクラス』を採用し他に類を見ないテクスチャーを生み出し、空間に彩りとアクセントを持たせることを目的とし歴史的時間と空間装飾の調和を図った。昔から家の中心にあるこの『かまど』の周りに再び人々が集まり、大勢で団欒することによって、再生が完了されることを期待したい。

